

内視鏡手術支援ロボット最新モデル 『ダビンチ X サージカルシステム』薬事承認を取得

最先端テクノロジーによるロボット支援手術の新たな選択肢を 外科医や患者さまに提供します

ロボット支援下低侵襲外科手術の分野で世界をリードするインテュイティブサージカル社 (NASDAQ: ISRG 本社: 米カリフォルニア州サニーベール) は、2018年4月4日付で、日本においてダビンチサージカルシステムの最新モデル「ダビンチ X サージカルシステム」(以下、「ダビンチ X」) の薬事承認を取得しました。5月より販売を開始する予定です。

「ダビンチ X」の発売は、ロボットによる低侵襲外科手術を実現されたい様々なお客さまのニーズに対応する、十分に価値のある製品ポートフォリオを提供する、という弊社のコミットメントの最新の取り組みです。

インテュイティブサージカル社の CEO ゲイリー・グットハート (Gary Guthart) は、「弊社は 20 年以上にわたり、革新的なテクノロジー、成果に焦点を当てた製品、価値を満たすソリューションの開発と提供に尽力してきました。世界中の外科医、病院また医療に携わる皆さまから、手術支援ロボットによる治療を選択する際には、患者さまに十分な臨床、技術、費用の観点からの選択肢を提供することが重要だというご意見をいただいています。ダビンチ X は、価格並びに弊社の革新的な技術の選択を求めておられるお客さまのニーズを満たす製品だと考えています」と述べています。

ダビンチ X は弊社の主力製品である「ダビンチ Xi サージカルシステム」(以下、ダビンチ Xi) と同じ第 4 世代の製品で、ダビンチ Xi と共通のサージョンコンソールとビジョンカート、また共通の鉗子類をご使用頂けます。これにより、高度な機能をご使用頂けるだけでなく、将来システムを上位機種であるダビンチ Xi にアップグレードすることが可能となりました。これらにより、外科医や病院さまは、インテュイティブサージカル社が提供する先進的かつ革新的な手術支援ロボットのポートフォリオ、さらには全てのプログラム、サポート、保守サービス、ソリューションをご利用頂けます。

ダビンチ X は、前立腺悪性腫瘍手術、腎部分切除手術、子宮悪性腫瘍手術をはじめとする一定の術野範囲で行われる手術にご使用頂けます。本システムはダビンチ Xi と同様に最新インストゥルメント、フレキシブルなポート配置や最新の 3D デジタル光学機能をご使用頂けるほか、音声およびレーザーガイダンスによるセットアップテクノロジー、手術準備を簡素化するドレープデザイン、軽量の完全一体型エンドスコープ等も同様に使用可能なため、運用の効率性向上にも貢献します。

インテュイティブサージカル合同会社社長の滝沢一浩は、「日本における外科手術は、治療の成績と患者さまの QOL 向上のために絶え間なく進歩を続けており、そのためにロボット支援手術を選択される先生や病院が増えてきています。新たに手術支援ロボットの導入を検討している病院もあれば、より多くの症例を、より多岐にわたる症例で検討されている病院もあります。ダビンチ X は、病院や地域医療におけるさまざまなニーズに対応する選択肢のひとつとして、先生方や患者さまに貢献できると確信しています」と述べています。